

湖北広域行政事務センター

新一般廃棄物処理施設整備運営事業

新施設杭基礎工事について

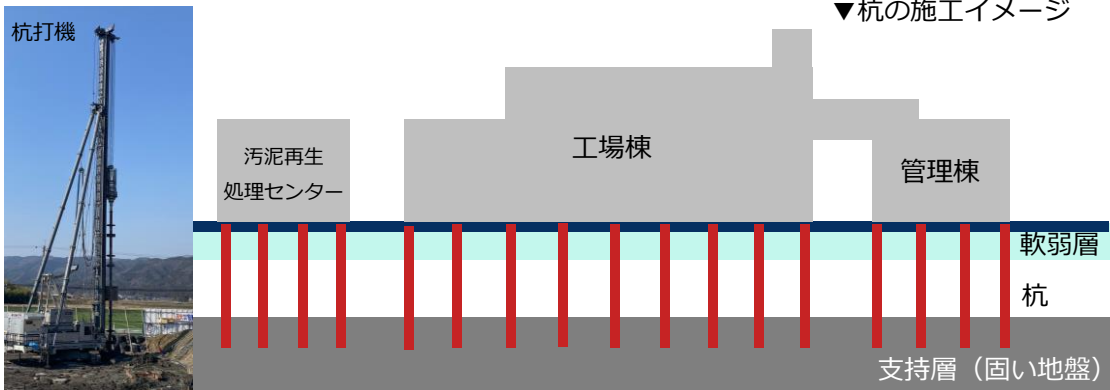
1. 杭基礎工事とは？

現在、センターでは、汚泥再生処理センター等の杭工事を行っています。（4月上旬迄の予定）
杭工事とは、家などの構造物が傾かないように固い支持地盤まで杭を打ち込んで、構造物を支える基礎工事のことです。軟弱な地盤が多く自然災害の多い日本にとって、頑丈な建物を作るためにも杭工事は非常に重要な工事の一つになります。



2. 杭基礎工事の工法について

通常は、ストレートのコンクリート杭を基礎杭としますが、処理施設の基礎杭は、鋼管巻コンクリート杭（上杭）、コンクリート杭（中杭）、節杭（下杭）を1本につなぐ形式の基礎杭として、プレボーリング拡大根固め工法にて施工します。



杭種類の選定

鋼管巻コンクリート杭（上杭）は、大規模地震時の地盤・建物の揺れなどによる大きな水平力に耐えるために高強度な杭を採用しています。節杭（下杭）は、節による大きな摩擦力が確保でき、支持層での先端支持力を向上させるために採用しています。

プレボーリング拡大根固め工法（採用した施工方法の紹介）

地盤を杭打機で先行掘削し、根固め液と杭周固定液となるセメントミルクを注入した後、杭を埋設する工法です。

